

【分科会記録】第 6 分科会

（参加人数 25 人）

分科会テーマ	学校図書館運営の実際 図書館機能の活性化
司会	氏名：田村 稔（所属：胎内市立築地小学校）
記録	氏名：近藤 梓（所属：御代田町立御代田中学校）

1 発表の概要

(1) 発表者氏名（所属）

荻原 好枝（御代田町立御代田北小学校）

鈴木 亜希子（御代田町立御代田北小学校）

(2) 発表者氏名（所属）

内山 さとみ（新潟市立葛塚小学校）

2 討議の概要

御代田町立御代田北小学校

○調べる学習コンクールの実践

・町図書館との連携

（先生方への研修・テーマ選びやまとめ方のアドバイスといった講座の開設・相互貸借）

・旬を意識した図書館のレイアウト。授業との連携（関連本の掲示）。

・図書館を通じた学びを積極的に掲示

→図書館だよりを月に 1 回発行、多読賞を表彰、読み聞かせなど。

・子どもたちによるアイデア

→「みよきた宝くじ」「このほんなんだパズル」

○課題

活字に向かう力が弱くなっている。→手書きを大事にしたい。

子どもの実態として、マンガなど視覚的にわかりやすいものにとびつきがちである。

新潟市立葛塚小学校

○学校ぐるみで取り組むために

・各学年の図書館担当＋司書の 7 人で組織する「図書館部」を結成。

○具体的な取組

・指導内容を記した一覧表を作成。

・学年の渡り廊下に、教科書で学んだ関連本を展示。

・読書郵便。

・おはなし玉手箱（2 回の読み聞かせボランティア）。

・詩人と本を紹介するコーナー（毎月）。

・豊栄図書館の出張授業にてポプラディアの使い方を指導。

・市教委の協力のもと、年間指導計画の作成。

「グループ討議のまとめ」より

～御代田町立御代田北小学校の発表を受けて～

- ① 子どもたちの学びを支えるこまやかな取り組み
- ② 探究学習への誘いとなっている「調べる学習コンクール」
- ③ 公共図書館と学校図書館の協力・連携

コンクールに取り組むことで、調べるための本の利用の仕方を身に付けることができる。（参加者の声）

～新潟市立葛塚小学校の発表を受けて～

- ① 図書館機能の見通しと見える化
- ② 図書館司書と先生方との連携・内容の共有化
- ③ 図書館の時間の確保

ロイロノートを活用しての活動がすばらしい。毎月の詩の掲示、すぐにやってみたい。（参加者の声）

